

――八月十五日は敗戦記念日！
再び戦争の惨禍が政府の行為によって……
「いつか歩んだ道」では？――

◎三日後に八月十五日を迎えます。六七年前、日本は侵略戦争（太平洋戦争）を起こし、国内外の合計二千万人を超えるとも言われる人々の命を奪い、その結果無条件降伏をせざるを得なかった日です。愚かな、愚かな戦争でした。

◎その後すぐ、現在の日本国憲法が制定され、国民のほとんどは

① 国民主権

② 基本的人権尊重

③ 徹底した平和宣言 の三本柱を喜び、「やっと、これで人間らしい生活ができる」と胸を撫で下ろしました。

・特に、憲法第九条で、軍備を捨て、戦争をしない平和国家建設を誓いましたから、戦争に苦しめられてきた国民は、心から大歓迎したのです。その意味で日本の平和憲法は「全戦死者の遺言」と言っても過言ではないでしょう。

◎あれから六七年。皆さん、目を開けて周りを見て下さい。

・今や私たちの前に、日本が、防衛（軍事）予算的に見て、日本が世界有数の軍事国家であることが見えます。

・具体例では、私たち浜松市の上空を、AWACSが我がもの顔に飛び回っています。あれは何のためでしょうか？

北朝鮮の脅威などに備えての情報収集とも言われますが、結局は戦争のため。つい先日、岩国基地にも、危険なオスプレイが配備されました。

◎日本国民は「再び、政府の行為によって、戦争の惨禍が起こることのないように決意（憲法前文・裏面）」したのです。しかし、このままでは、気づいた時には、また身動きできない戦争体制の中に組み込まれると思えません。

◎市民の皆さん、この状況を黙っていてよいのでしょうか！

・一人ひとりが、小さくてもよいのです。「愚かな戦争はもうご免！」と声をあげませんか？ 子どもや孫や曾孫のために！

――平和講演会のご案内――

日時・八月二十六日（日）午後一時半～三時半（午後一時開場）

会場・プレスタワー一七階 静岡新聞ホール

講演題・「世界から注目される 日本国憲法のかぎやき」

講師・小森 陽一氏（「九条の会」事務局長、東京大学大学院教授）

入場・前売り・当日券ともに、五〇〇円：受付でどうぞ

主催・九条の会・浜松地域連絡会 つどい実行委員会

二〇一二年八月十二日（日）第五四六回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会（事務局 浜松市中区紺屋町三〇一～十五）